

会議録(要旨)

会議名等	令和 6 年度当事者会 3 月定例会	文 責	障がい福祉室
日 程	令和 7 年 3 月 6 日 午後1時30分～3 時 30 分	場 所	メイシアター レセプションホール

1. その他

- ・総合福祉会館実施「視覚障がい者向け教室」の案内

総合福祉会館担当から障がい者向け教室の案内がある。障がい者向け教室(障がい種別は問わない)については、陶芸教室、ストレッチ体操教室、七宝焼教室があり、一定の参加がある。視覚障がい者向け教室(視覚障がいの障がい者手帳所持者のみ)については、料理教室、リフレッシュ教室、歌う仲間教室があり、参加者が少ない。見学も可能なため、是非参加してもらいたい。

- ・吹田市地域自立支援協議会全体会議 傍聴案内

今年度の第 2 回目が、令和 7 年 3 月 24 日メイシアター1 階の集会室で実施予定。傍聴希望の場合は、メール等で参加申し込みが必要。会場の定員は 5 名、オンライン参加の場合は定員上限はない。

2. 「障がい者児のための防災ハンドブック」について

障がい者児のための防災ハンドブックが完成したため、内容を確認する。また、今後どうやって活用していくかを来年度考えていくことになる。吹田市がより良い街になるよう考えていきたい。

防災ハンドブック公表は 4 月以降を予定している。いろんな窓口に置ければ、いい。障がい者児がこれを見て、災害時に備えて活用できればいい。ホームページにも公開予定。ホームページでは、ルビあり、なし、テキスト版を掲載予定。

委員から防災ハンドブックを他の機関で紹介していいかと質問があったことについて、令和 7 年 4 月以降であれば、可能であることを委員間で確認した。

3. 吹田市地域自立支援協議会全体会議における当事者会取組報告について

吹田市自立支援協議会全体会議の場では、当事者会を代表して、福西会長から取組報告を行う。報告内容は以下のとおり。

- ・年間の会議開催状況。
- ・具体的な協議内容。短期目標(出前講座受講)、長期目標(防災ハンドブック作成)。
- ・その他の取組状況(茨木市障害当事者部会との交流会、福祉教育による講演)。
- ・障がい者児のための防災ハンドブック内容説明等。

4. 当事者会取組(3 年間)の振り返り

各委員から、感想や意見がある。

【意見】

- ・高次脳機能障がいがあり、参加した。いろんな方と活動できてよかった。いろんな所へ出て、防災ハンドブックを広めたい。
- ・今まで知的障がいの方では活動していたが、当事者会に出て、障がい特性により、こうして欲しいとい

う内容が異なることを知った。交流の場を増やしていきたい。

- ・重症心身障がい児は重篤で親が中心となって支援をしている現状がある。災害時は避難が難しい。
- ・視覚障がい者の鍼灸マッサージ等、視覚障がいに関わる活動をしてきた。当事者会では視覚障がい以外のことも聞けて良かった。
- ・防災ハンドブックができて良かった。市報の 3 月号表紙に「手話でつながる」が載っていた。当事者会のメンバーが載っていたので嬉しい。長期目標、短期目標も達成できて良かった。
- ・何か変われば良いと思って、参加した。
- ・聴覚障がい者が利用する「北摂聴覚障害者センター ほくほく」のボランティア活動もしていたが、当事者会で他の障がい者の方と交流できた。「吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例」もできた。話をできる場が増えて良かった。いいきっかけができた。これからは行事・企画があれば、頑張っていきたい。
- ・3 年間、皆さんの力を借りて、防災ハンドブックを作ることができて良かった。皆さんの思いが伝わった。奥が深い。障がい児は、現在の制度の中で生活しているが、まだまだ足りない。困っていることは言っている。最近テレビを見ても、障がい児が映っていることが多い。昔は対象者だけの特集だった。皆、同じ人権がある。まだまだうわべだけの社会。インクルーシブな社会を作っていかなければいけない。声をあげていかなければいけない。この 3 年間は皆さんが声をあげていた。当事者会は要望団体ではなく、声をあげる団体。自立支援協議会にも上げていきたい。これからは皆と一緒に活動していきたい。ありがとうございました。

以上